

令和 3 年度 施策評価表

施策	0502	スポーツの振興	施策担当部等	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課等	スポーツ振興課	課長	岩永 太
施策の方針	スポーツへの参加促進や指導者の育成を図り、生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する。また、スポーツ施設を充実するなど、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。					
関連するSDGsのゴール	   					

【D○(実施)】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値(H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① スポーツイベントの年間参加者数	人	5,488	6,600 6,205	6,900 6,406	7,100 6,088	7,300 5,543	7,500 177	2.4%	2.4%
② 公認のスポーツ指導者登録数	人	152	158 164	161 158	164 156	167 174	170 199	117.1%	117.1%
③ スポーツ競技団体の加入者数	人	9,259	9,450 9,019	9,600 9,110	9,750 8,729	9,900 8,562	10,000 8,220	82.2%	82.2%
④ 成人の週1回スポーツ実施率	%	54.1	55.9 53.8	56.2 51.8	56.5 49.8	56.8 51.4	57.0 52.8	92.6%	92.6%
⑤ 体育施設の年間利用者数	人	439,954	442,000 449,022	444,000 436,568	446,000 453,889	448,000 419,500	450,000 297,451	66.1%	66.1%

施策達成状況の説明

- ①新型コロナウイルス感染症の影響で各種スポーツイベントが中止になったため、目標を大幅に下回った。
- ②県スポーツ協会と連携して公認指導者の登録を呼びかけた結果、目標を上回った。
- ③市スポーツ協会の加盟の1団体の解散及び新型コロナウイルス感染症の影響で市スポーツ協会で開催しているスポーツ医科学講習会や一部初心者教室の開催が中止となり、募集活動が満足にできなかったことなどから、加入者数が減少し、目標を下回った。
- ④週に1回以上のスポーツ実施率は近年伸びてきているが、目標を下回った。
- ⑤新型コロナウイルス感染症の影響で屋外体育施設の利用制限などを行ったため、利用者が減少し、目標を下回った。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	305,484	407,871	303,886	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	1,103	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	24,112	131,092	35,526	
	一般財源	281,372	275,676	268,360	
	人件費	34,999	39,456	-	
フルコスト	340,483	447,327	-		

施策の概要

050201	スポーツへの参加促進	生涯を通して気軽にスポーツを楽しむことができるよう、市民スポーツ大会、ロードレース大会など、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民参加型のスポーツイベントの開催や、地域のスポーツ大会などの支援を行います。
050202	指導者の育成	生涯スポーツの担い手となる指導者の育成を図るため、日本体育協会公認資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成、確保に努めます。
050203	競技スポーツの推進	競技力の向上を目指し、市体育協会と連携し競技スポーツ団体の育成を図り、優れた指導者や競技者の養成に努めます。 また、全国レベルの大会やスポーツ合宿を誘致するなど、多様な交流を通じた競技力の向上を図ります。
050204	スポーツ施設の充実と利用促進	市民のスポーツ活動の場となるスポーツ施設の充実を図るため、総合運動公園の早期整備や老朽化した施設・設備の計画的な改修と適正な維持管理に努めます。 また、スポーツ施設の利用促進を図るため、適切な運営管理を行うとともに、予約システム等の充実を図ります。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の多くが老朽化しており、計画的な改修工事を進めているが、突発的な大きな故障や不具合等が発生した場合の対応の迅速化が課題である。 ・高齢化が進む中、高齢者がスポーツに親しむ機会はあるが、若年層から働き盛り世代のスポーツへの参加促進が課題となっている。身近にスポーツに親しむ環境を整える必要がある。 ・スポーツイベントの年間参加者数の目標値を達成するために、毎年定期的に開催している市民スポーツ大会等のスポーツイベントにおける競技について再検討する必要がある。 ・競技団体やスポーツ推進委員などの協力により、スポーツイベントの開催などスポーツ振興を図っているが、活動の中心となる人が高齢化し後継者育成が課題となっている。 ・令和3年に開催される東京オリンピックを控え、スポーツに対する関心が高まっている中、スポーツを通じた地域の活性化、国際交流などを図るため、県や県スポーツコミッションとともに、スポーツ合宿の誘致に努める必要がある。
-------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設利用者に対して、快適で利便性が高い施設を提供できるよう、必要な改修等を行い、整備を進めていく。また、市のスポーツ施設の中長期的な整備改修計画を策定する必要があるため、アセットマネジメントによる計画と整合性を取りながら、整備改修計画を進めていく。特に陸上競技場は、トラックがクレー（土）であり、競技力向上を図るため、全天候型のトラックの改修による整備に向けた検討を進めていく。 ・スポーツイベント開催事業について、スポーツ人口の拡大のため実施している市民スポーツ大会の種目等が市民のニーズにあっているか精査し、内容を検討しながら、スポーツに親しむ環境を広げていく。 ・スポーツ振興事業について、日本スポーツ協会公認資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成、確保に努め、生涯スポーツの普及推進を支える指導者の育成を図る。 ・スポーツ合宿等誘致事業について、令和3年度に東京オリンピック・パラリンピック大会が開催され、スポーツに対する関心が高まっているなか、市民、特に小中学生がトップアスリートの生のプレーに接することで、競技力の向上及びスポーツを通じた地域や経済の活性化を図る。このため、県や県スポーツコミッションとともに、さらなるスポーツ合宿の誘致に努める。
---	---

令和4年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1 北部九州インターハイ開催事業	スポーツ振興課	394	令和6年度に北部九州ブロックで開催される全国高等学校総合体育大会において、開催自治体の一つとして本市で競技大会を開催する。（令和4年度、5年度はその準備を進める。）
2			
3			
4			
5			
		394	